

クリスマスカードを選ぶ 2018.3.19

毎年12月になると、外国の知人に送るクリスマスカードを買いに出掛ける。けばけばしくない日本的なものを選ぶが、もう一つ注意していることがある。

それは、そのカードに書かれている文面である。いろいろの文面があるが、大きく分けると、「Happy Christmas and a Happy New Year」のようにクリスマスの言葉が入るものと、「Season's Greetings and a Happy New Year」のようにクリスマスの言葉がない2系統である。私はいつも後者のカードを選んでいる。と言うのも、外国人だからといって、必ずしも、キリスト教徒ではないからである。

私は、若い頃一時、米国に住んでいたが、周りは、キリスト教徒のみならず、ユダヤ教徒、回教徒、仏教徒、ヒンズー教徒などなどいろいろであった。クリスマスにユダヤ教徒の知人を訪ねたことがあるが、平生と何も変わったことはなかった。キリスト教徒以外の人に、キリスト教徒でもない私が、「Merry Christmas」と言うのは、何か間が抜けた感じもする。

そのようなわけで、毎年送るカードは、「Season Greetings」の類を私は選んでいる。

宗派のことはともかく、彼らはクリスマスシーズンにカードをもらうことは嬉しいらしく、ユダヤ教徒の人も部屋に受け取った多くのカードを飾って喜んでいた。とにかく、年賀状やクリスマスカードは、洋の東西を問わず、我々人間の喜びや悲しみの交流であることは間違いない。

昨年末、カードを買いに出掛けたが、残念なことに私が考えるようなカードの種類は大変少なく、ほとんどが「Merry Christmas」入りで、戸惑った。

グローバル化、グローバル化と毎日あちこちで聞くが、世界の文化に根差したグローバル化から、いまの日本の社会は遠ざかっているのではないかと心配である。